

学習シラバス (芸術) 科

科目名	単位数	学年・類型
音楽 I	2	第 1 学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>1 音楽的感性・技能を身に付け、音楽の生み出す曲想やリズムなどの美しさを感じ取りながら、自己表現能力を養います。</p> <p>2 音楽に対する興味・関心を深め、意欲的に音楽活動に取り組む態度を身に付け、生涯学習につながる基礎を学びます。</p>
---------	--

2 学習計画等

	学習内容	学習のねらい
1 学期	○校歌に親しむ ・斉唱 ・二重唱	発声のメカニズムについて理解し、伸びやかな美しい歌声で校歌などを2部合唱します。また、歌詞の意味を正しく理解し、曲想を考え、表現に反映させます。
	○リズム・アンサンブル ・楽譜の基礎知識 ・リズムアンサンブル ・You Can Do It!	楽譜の基礎としてリズムの読み方を確認し、ボディ・パーカッションによるリズム・アンサンブルを体験します。グループ学習によりアンサンブルの楽しさや奥深さを味わいます。
	○楽典 ・2音間の音程 ・幹音と派生音の音程	楽譜の基礎知識を復習し、音楽の理論として音程の学習をします。音程の概念を知ることで、2学期以降のコード学習に繋げていきます。
2 学期	○歌唱 日本と世界の歌	更に歌唱表現の技能向上を目指します。世界各国の歌曲を原語で歌うことで、その国の人々の心情にもふれます。
	○ヴォーカル・アンサンブル	ア・カペラ・アンサンブルに挑戦し、美しいハーモニーを体感します。ことばの意味を深く考えた表現方法についても工夫します。
	○楽典 ・コードの基礎知識 ・コードの種類と構成音	コードの基礎知識及び構成音などを学習し、楽譜上でコードを理解します。3学期の実技演習に繋げていきます。
3 学期	○弾き歌い活動	コード学習のまとめとして童謡の弾き歌いに挑戦します。旋律譜とコードネームを見ながら伴奏を付けて弾き歌います。
	○音楽史と劇音楽	音楽の歴史を簡単に紐解き、それぞれの時代様式を学びます。また劇伴としての音楽の力を感じ取っていきます。

3 評価の観点及び内容、評価方法

評価の観点及び内容	評価方法	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な楽典知識や、既習事項が理解できている。 ・基礎的な表現の技能を身に付けている。 ・楽曲の作りや文化的背景などを理解して楽曲にしたしむことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実技テスト ・筆記テスト ・ルーブリック評価 ・ノートチェック ・授業への取組
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽表現への豊かさや美しさを感じ取っている。 ・多様な音楽への理解を深め、それぞれの良さや美しさを味わう。 ・場面に応じた音楽表現を考え、創造的に表現できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実技テスト ・筆記テスト ・ルーブリック評価 ・ノートチェック ・授業への取組
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・活動に対し積極的な態度で取り組んでいる。 ・幅広いジャンルの音楽へ興味・関心を高める。 ・知識や技能の習得に喜びを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実技テスト ・ルーブリック評価 ・ノートチェック ・授業への取組